

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課
 担当課長名:西川 昌宏

事業名	地域高規格道路 <small>しまばら</small> 島原道路 一般国道251号 <small>ありあけみずほ</small> 有明瑞穂バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自:長崎県 <small>しまばら</small> 島原市 <small>ありあけちよう</small> 有明町 至:長崎県 <small>うんぜん</small> 雲仙市 <small>みずほちよう</small> 瑞穂町			延長	10.4km	
事業概要						
島原道路の一部として広域ネットワークを形成し、島原半島地域から空港、新幹線等へのアクセス向上や緊急医療体制の強化支援、長崎・県央地域との地域連絡強化を目的とし長崎県島原市有明町～長崎県雲仙市瑞穂町までの延長10.4kmを整備するものである。						
R2年度事業化		都市計画決定なし		R4年度用地着手		R5年度工事着手
全体事業費		約380億円		事業進捗率		約9%
計画交通量		11,200～13,300台/日				
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		総便益	
	(事業全体)	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)	
(参考)	1.7	7.0%	266/311 億円		513/513 億円	
(参考)	2.5 [2%]		事業費: 264/309 億円		走行時間短縮便益: 423/423 億円	
(参考)	3.2 [1%]		維持管理費: 2.2/2.2 億円		走行経費減少便益: 67/ 67 億円	
(参考)	3.8 [1%]		更新費: - / - 億円		交通事故減少便益: 23/ 23 億円	
感度分析	(残事業)	(残事業)	(事業全体)		(残事業)	
	1.9	8.4%	交通量	B/C=1.4～1.8(±10%)	交通量	B/C=1.7～2.1(±10%)
	(参考)		事業費	B/C=1.5～1.8(±10%)	事業費	B/C=1.8～2.1(±10%)
	2.9 [2%]		事業期間	B/C=1.6～1.7(±20%)	事業期間	B/C=1.9～2.0(±20%)
(参考)	3.8 [1%]					
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通拠点への所要時間短縮や高速定時性の確保により、島原半島の産業活動活性化が期待される。 ・幹線道路の代替路の確保、緊急輸送道路の機能強化が図られる。 						
関係する地方公共団体等の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・「島原半島幹線道路網建設促進期成会」「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」より早期整備を要望されている。 						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> ・「島原道路」の一部である長野～栗面工区開通(令和4年度) ・「島原道路」の一部である森山拡幅(森山東～森山西)が開通(令和5年度) 						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
<ul style="list-style-type: none"> ・用地進捗率約16%、事業進捗率約9% 						

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、用地買収・改良工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

対応方針

事業継続

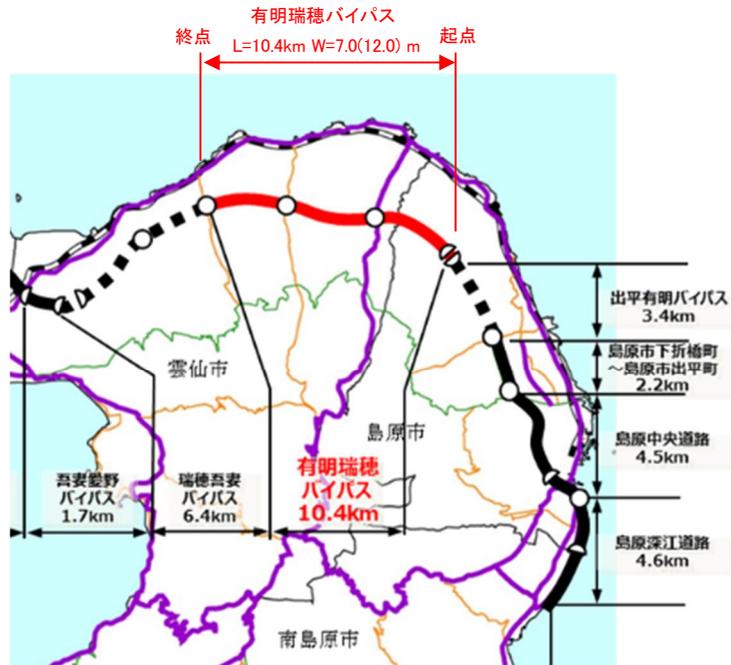
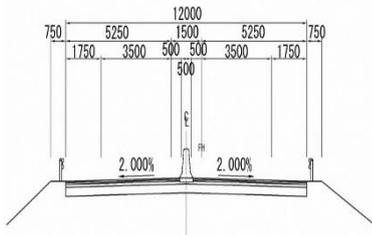
対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



標準断面図 (Standard Cross-section Diagram)



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)